

# 新刊案内

こんなときだから 希望は胸に高鳴ってくる  
―あなたとわたし・わたしとあなたの関係への覚えがき―

最首悟・著

2018年12月19日発売予定

障がい者45人を殺傷したやまゆり園事件（相模原事件）の犯人植松青年に手紙を出す著者は、「世の中に無用な人はいない」「心を失った人はいない」と訴える。殺人などの罪に問われた元職員の植松聖被告（29）に対する裁判員裁判の初公判は年明けすぐの、来年1月8日に開かれる。障がい者、今後ますます増える認知症老人を考える意味でも、この事件は無関係ではないことを著者は述べる。本書は植松青年からの著者あての手紙から、その返信から始まり、毎月著者が出している手紙や、これまでの著者の重度障がいの娘さんをとおしての「いのち論」などを考察している。

（著者は新聞社の依頼で裁判傍聴の予定であり、傍聴記などは全国紙に掲載される予定）

（NHK「NスペPlus」「へともじ、生きる」とは 障害者殺傷事件から見えてきたもの」（2018年10月5日放送にも出演）

四六判 上製本 384ページ

本体価格2300円＋税

ISBN978-4-87551-231-8



最首悟・著

発行・くみかみ

FAX042-725-6028

こんなときだから希望は胸に高鳴ってくる

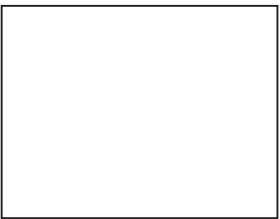
―あなたとわたし・わたしとあなたの関係への覚えがき―

ISBN978-4-87551-231-8

C0036

定価：本体 2300 円＋税

貴店名(番線印)



部数 部